

2018年3月11日（日）メッセージアウトライン

聖書箇所 マルコの福音書 5:25～34

メッセージ 「長血の女の癒し」

<12年間長血をわずらっていた女性>

今日のところで一人の女性が出てきている。年齢、名前、家族構成不詳。おそらく独身だったのではないか。12年もの間、長血という出血が止まらない女性特有の病気をわずらっていた。人々からは汚れているとされていた。彼女は何とかよくなりたいたい、治療して病気を治したい、そう思って医者のところを足運んだが、26節にこのようにある。「多くの医者からひどいめに会わされて、自分の持ち物をみな使い果たしてしまっただが、何のかいもなく、かえって悪くなる一方であった。」(v26)

一人や二人ではない、たくさんの医者からひどいめに会わされた、お金を騙し取られた。そういう悪い輩がたくさんいたのか、ひどい話であるが、、、。それでも、何とか病気を治したい、「今度こそは、、、」と期待して、次の医者のところに行くのだが、また騙される。そうこうしているうちにとうとう全財産を使い果たしてしまっただ。それで病気は少しでも良くなったかという、何の成果もなく、よけい悪くなっていったとある。本当にひどい話だと思う。女性の心の痛みはどんなだったのだろうか、、、。

<イエス様の着物にさわって癒される>

彼女は、財産も全部使い果たし、病状も悪化し、もうどうすることもできない、万策尽きて何の希望もない絶望の中にあっただとき、イエス様のことを耳にした。イエス様という方が病気の人を癒されている。イエス様に触れられた人が癒された。そういう噂を聞いた。彼女にとっては真つ暗闇の中に一縷の光が差し込んできたような、そんな話だった。「本当だろうか、、、そんなことがあるのだろうか、、、」最初は半信半疑だったかもしれない。でも、もう自分にはこれにけるしかない。このイエス様というお方のところに行けば、もしかしたら自分の病気を治して頂けるかもしれない。彼女は最後の望みを抱いて、イエス様のところに向かった。そして、群集の中に紛れ込んで、おそらく貧血状態でフラフラ

だったのではないかとされるが、群集をかき分けながら、やっとのことでイエス様の近くまで来た。そしてうしろからそと、イエス様の着物にさわった。彼女は、「お着物にさわることでもできれば、きっと直る。」と考えていた。そうしたらどうだったか、、、。なんとたちまち一瞬にして出血が止まって、ひどい身体の痛みがなくなった。12年もの長い間、女性を苦しめていた病気が、イエス様の着物にさわったときに一瞬にして癒された。どんなにびっくりしただろう。

<女性を引き出し、声をかけられるイエス様>

すると、イエス様が突然立ち止まって、群集の中を振り向かれた。そして、「誰がわたしの着物にさわったのですか？」と言われる。イエス様は女性が着物にさわったときに、ご自分のうちから力が外に出て行ったことに気づいたのである。イエス様が群集の一人ひとりの顔を見ながらご自分にさわった者を捜しておられると、弟子たちが不思議に思ってイエス様に言った。「イエス様、ご覧ください。こんなにたくさんの群衆があなたに押し迫っているのですよ。それでもあなたは、『だれがわたしにさわったのか』とおっしゃられるのですか？」

しかし、イエス様はまるで弟子たちの言葉が耳に入っていないかのように、群衆の中を一人ひとり、顔を見回してご自分にさわった者を捜された。どれぐらいの時間だったろうか、癒された女性は、これはもう隠し切れなと思って、群衆の中からブルブル震えながらイエス様の前に出て来て、ひれ伏した。群衆や弟子たちは一体どういうことだろうかと思っただろう。女性は、口を開いて震えた声で、自分が12年間長血という病気で苦しんで来たこと、多くの医者に騙され、一文無しになってしまったこと、そしてついさっき、うしろからイエス様の着物にさわったときに一瞬にして病気が癒され、出血が止まり、身体の痛みが消え去ったことを全部、ありのままに打ち明けた。

イエス様は彼女が話を終えるまで途中で切ることなく、全部聞き終えると、優しくこう声をかけられた。「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。安心して帰りなさい。病気にかからず、すこやかでいなさい。」「あなたがわたしに信頼して、わたしの着物にさわったから、あなたの病気は癒されたのですよ。あなたのわたしへの信頼があなたを直したのですよ。」と言われた。彼女の病気が癒されたのは、間違いなく100%イエス様の力であるわけが、イエス様はそう言われなかった。あなたの信仰、あなたのわたしへの信頼があなたを直したのですよ、と言われた。この女性にとってどんなにありがたい言葉だったのだろうか。

<女性の抱えていた大きな問題>

彼女にとって、12年間もの長い間わずらっていた長血という病気は本当に大きな問題だった。しかしそれ以上に大きな問題は、人を信頼できなくなっていたことではないか、、、。多くの医者に騙されてひどいめに会わされたこと、「今度こそは、今度こそは、、、」と期待してお金をつぎ込んで、また裏切られる、、、。一度や二度ではない。何度も裏切られ、失望させられた。もう誰も信用できない、人は信頼できない。そうやって普通だと思う。見捨てられ不安ということを知ったことがあるが、「本当の自分を知られたら人から捨てられるんじゃないか、こんな自分の姿を知ったら人は、愛想つかして自分から離れて行くんじゃないだろうか、、、」そして人の前でありのままの自分でいることができない

、いつも何か着飾っていて、とうとう疲れ切ってしまう。そういう人が多いという。自分自身にもそういうところがあるなあと思わされる。そのままの自分でいいのに、等身大でいいのに、頭ではわかっていてもそうあれないときがある。

この女性は、最後の望みをかけて、勇気を持って、イエス様の着物にさわった。そして癒された。そのイエス様が「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。」と言って下さった。「よくわたしに信頼したね。あなたのわたしへの信頼があなたを直したのですよ。あなたを救ったのですよ。」と言って下さる。彼女にとってどんなに大きな経験であり、どんなに大きな言葉だっただろうか。

<イエス様こそ信頼できるお方>

愛する兄弟姉妹、イエス様は信頼するに足るお方です。イエス様に信頼する者は、決して失望させられることはありません。私たちは人に失望することがある、自分自身に絶望することがある。でも大丈夫、イエス様に信頼するなら絶対に失望させられることがない。このお方は私たちの罪のために十字架にかかっていのちを捨てて下さっただけでなく、死に打ち勝って、よみがえられたお方です。私たちの罪がどんなに大きく、どんなに深くても、このお方に信頼するなら救われる。私たちの罪を赦し、私たちをきよめて下さるお方はこのイエス様だけです。

たくさんの方がイエス様のところに来る。教会に来る。しかし、イエス様に信頼して触れる者だけが恵みを受ける。イエス様を信じて心に受け入れる者だけが救われる。もしまだイエス様を信じていない方がいたら、今日、心を開いてイエス様を信じ、心に受け入れて欲しい。この女性がイエス様に信頼して、着物にさわった瞬間に癒されたように、あなたがイエス様を信じて心に受け入れるとき、あなたの全ての罪が赦されて、あなたは救われる。